

平成26年9月29日

「第11回文化庁映画週間」の開催

文化庁では、魅力ある総合芸術であり、また、海外への日本文化発信の有効な手段である日本映画の振興に、様々な観点から取り組んでいます。その一環として、このたび11回目となる「文化庁映画週間」を東京国際映画祭期間中に開催します。文化庁映画週間では、優れた文化記録映画や永年にわたり日本映画を支えてこられた方々を顕彰するとともに、記念上映会やシンポジウムなどを実施し、あらゆる立場の人々が映画を通じて集う場を提供します。

1. 会 期

平成26年10月23日（木）～10月27日（月）

2. 場 所

グランドハイアット東京、シネマート六本木（港区）

3. 主催等

主催：文化庁

共催：公益財団法人ユニジャパン

4. 実施事業の概要

次頁以降参照

文化庁文化部芸術文化課

課 長 加 藤 敬（内2822）

主任調査官 佐 伯 知 紀（内2829）

メディア芸術振興係 中 臺 正 明（内2083）

【代表】03-5253-4111

文化庁映画週間URL <http://bunka-cho-filmweek.jp/>

実施事業の概要

平成26年度 文化庁映画賞贈呈式及び受賞記念上映会

(主催／文化庁)

【贈呈式】

優れた文化記録映画作品を顕彰する文化記録映画部門、永年にわたり日本映画を支えてこられた方々を顕彰する映画功労部門の贈呈式を実施します。

日程：10月23日（木）20：00～

会場：六本木ヒルズ グランドハイアット東京 2階

【受賞記念上映会】

文化記録映画部門受賞作品を上映するとともに、各映画上映後に当該映画に関わった方々をお迎えしてのQ&Aも行います。

日程：10月26日（日）

会場：シネマート六本木 スクリーン4

文化記録映画優秀賞

11：00～ 「鳥の道を越えて」

14：00～ 「鬼来迎-鬼と仏が生きる里-」

文化記録映画大賞

16：00～ 「ある精肉店のはなし」

シンポジウム－MOVIE CAMPUS－

(主催：文化庁／共催：公益財団法人ユニジャパン)

日程：10月27日（月）14：00～（予定）

会場：シネマート六本木 スクリーン4

映画文化の最新動向を紹介するシンポジウム。映画業界の現状と未来について、多彩なゲストを招いてディスカッションします。

■プログラム

[第一部] 『「アナ雪」を越えろ！～日本のフルCGアニメへの挑戦』

日本ではこれまで、2Dアニメでの独自の演出スタイルやキャラクターの表現力を武器として、“ANIME”が世界に認められました。しかし世界市場では、CGで制作されたアニメ映画が全盛となり、『アナと雪の女王』の大ヒットも記憶に新しいと思います。第一部では、日本の業界がどのようにCGアニメ技術と向き合い、対応してきているのかを実作を紹介しながらディスカッションします。

<ゲスト>

荒牧伸志（監督&プロデューサー／SOLA DIGITAL ARTS）／野口光一（東映アニメーション株式会社 映像企画部 プロデューサー）／諏訪道彦（読賣テレビ放送株式会社 東京支社 編成局 アニメーション部 エクゼクティブ・プロデューサー）

[第二部] 『羽ばたけ！映画の撮影スタッフ～人材育成と未来』

映画の撮影がフィルムからデジタルへ技術移行しつつある今、現場ではどのような問題が発生しているのか。第二部では、日本映画撮影監督協会が撮影助手の育成と技術の伝承を目的に、2004年から運営し今年で10周年を迎えた「撮影助手育成塾」の成果を紹介。卒業生ら関係者を交えて撮影現場での課題や体験談、今後の人材育成の展望についてディスカッションします。

<ゲスト>

「撮影助手育成塾」紹介：

兼松熙太郎（協同組合日本映画撮影監督協会 理事長／撮影助手育成塾 塾長）

座談会：藤澤順一（撮影）ほか

なお、各イベントの詳細は決まり次第、こちらに更新してまいります。

<http://www.bunka-cho-filmweek.jp>

（参考）第27回東京国際映画祭 開催概要

期間：平成26年10月23日（木）～10月31日（金）9日間

会場：六本木ヒルズ、TOHO シネマズ 日本橋、歌舞伎座等

公式サイト：<http://2014.tiff-jp.net/ja/>

企画内容に関する詳細お問合せ先

公益財団法人ユニジャパン E-MAIL bfw2014@unijapan.org